

平成27 (2015) 年度 年間指導計画

教科・科目	家庭・家庭総合	学年	1年	教科書	第一学習社「高等学校 家庭総合 とともに生きる・未来をつくる」
		単位数	2単位	副教材	教育図書「トータル・データ 家庭科ガイドブック」

学習目標
 家庭生活における知識と技術を身につけ、自立した生活ができるようにするとともに、豊かで自分らしい生き方について考えていきます。また、一人ひとりが現在の生活を見つめ、よりよくするために主体的に関わる学習を通して、生活を創造する能力と実践的な態度を身につけることを目標とします。

学習方法
 ○技能を身につけるとともに、現状における課題などについても考え、レポートしてもらいます。実習には積極的に取り組みましょう。
 ○授業を通しての色々な情報(ノート、学習プリント、ビデオなど)を上手に活用し、学習した知識が自分のものとして定着するよう工夫して取り組みましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	人の一生と家族、衣生活、消費生活に関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
b	思考・判断・表現	生活について、課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	
c	技能	家庭生活の充実向上のための基礎的・基本的な技術を身につけている。	
d	知識・理解	家庭生活の意義や役割を理解し、生活を充実、向上させるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
				a	b	c	d			
1	装う	被服材料	繊維の性質		○		○	日常の衣生活の工夫を利用し、適切な意思決定ができる。被服の考察ができる。	ワークシート テスト 観察	
		被服の構成と製作	被服の構成と成型 実習 ハーフパンツ		○		○	日常生活に必要な縫製技術を身につけ、より自分の生活に即して活用できるようにする。	作品 観察	
	ホームプロジェクト			○	○	○	○	生活の課題を見つけ、改善方法を考え、実践し、レポートし、発表できる。	レポート 発表	
2	装う	人と衣生活	装うということ	○			○	衣服の起源や歴史、風土に適した衣服などの学習を通して、衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解する。	ワークシート 観察	
		被服の選択と管理	被服の選び方		○		○	計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解する。	ワークシート 観察	
	人生をつくる	私たちの生き方と課題 家族・家庭と社会との かかわり	自立の準備 人生設計 家族・家庭にかかわる 法律、社会保障		○	○		○	自らの将来を想像し、自主・自立に対し関心を持ち、学習を積極的に 行う。 自らの人生設計を行うことを通じ想定できる課題を確認することができる。 家族・家庭にかかわる法律や社会保障制度を理解し、その課題を 考えることができる。	ワークシート 観察 ワークシート テスト 観察
生活文化	食文化の伝承	正月料理 実習 雑煮	正月料理	○	○		○	食生活やその知恵に関心を持ち学習を積極的に 行う。 日常生活に必要な調理技術を身につけ、より自分の生活に即して 活用できるようにする。	レポート 観察 実習 観察	
			家庭の経済計画		○	○			家庭の経済と消費、消費行動と環境などに関心を持ち、意欲を もって学習活動に取り組んでいる。	ワークシート 観察
3	消費を考える	消費者の権利と責任	契約トラブルとその 対処 消費者信用 消費者の権利と責任		○		○	○	消費者として主体的に判断するために消費生活の現状と課題 について考えている。 社会の変化に伴う家計の管理や消費生活の課題について調 査、考察することができる。 消費者として責任をもって行動するために必要な基礎的・基本 的な知識を身につけている。	ワークシート テスト 観察
		高齢期をどう生きるか	高齢者の理解		○	○			加齢に伴う変化と高齢者の現状に関心を持ち、学習を積極的 に行う	ワークシート 観察
		充実した生涯へ	高齢者の生活と福祉 高齢者の尊厳	高齢期の暮らしと支 援 高齢者の尊厳		○		○	○	高齢者と適切にかかわったり、高齢者の自立生活を支えたりす るために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。 高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解 し、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす 役割について考察することができる。

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	家庭・家庭総合	学年	2年	教科書	第一学習社「高等学校 家庭総合 ともに生きる・未来をつくる」
		単位数	2単位	副教材	教育図書「トータル・データ 家庭科ガイドブック」

学習目標	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解する。生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。	
学習方法	家庭や地域の生活を創造する能力を育てる。知識や技術を活用して課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断工夫し創造する能力を身につける。	
学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a 関心・意欲・態度	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
	b 思考・判断・表現	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断工夫し創造する能力を身につけている。
	c 技能	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な総合的な技術を身につけている。
	d 知識・理解	家庭生活や地域の生活に関する知識を総合的に身につけている。

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	食べる	人と食生活	食物の役割	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	食物の役割、食生活の問題点について考えようとしている。	授業態度 発言・発表 ワークシート
		栄養と食品	各栄養素とそれを 含む食品	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	各栄養素とそれを含む食品について理解している。	
		調理実習	調理の基礎技術・ 手順の体得と実践	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	調理の基礎的基本的技術・手順や能率を体得し、 実践的な態度を養うことができる。	実習 取り組み テスト
		食品の選択	食事摂取基準と献 立作成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	食事摂取基準について学び、献立作成が自分自身 で立てられるようにする。	
		健康は食生活の 改善から	家族の特徴を考え た食物	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	家族の年齢や生活なを考えた食物構成を考えること ができる。	ワークシート
2	ホームプロジェ クト	夏休みの課題	学習内容を実践活 動で生かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	家庭科で学習した内容を実生活で生かす活動をする ことができる。	授業態度 発言・発表
		まとめと発表	課題研究のクラス発 表	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ホームプロジェクトの課題研究とクラス発表をするこ とができる。	
		調理実習	調理の基礎技術・ 手順の体得と実践	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	調理の基礎的基本的技術・手順や能率を体得し、 実践的な態度を養うことができる。	実習 取り組み
	住まう	人と住生活	住まいの歴史文化 と知恵	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	住まいについて歴史文化と先人知恵を理解すること ができる。	
		住生活の設計	住よい住空間の設計	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	平面表示記号や家具設備記号について学び、住よ い住空間の設計することができる。	ワークシート
		住環境の整備	健康で安全な住居	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	健康で快適に、安全に配慮した住居のあり方を理解 することができる。	プリント
3	育つ・育てる	子どもの発達	成長・発達の特徴	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	乳幼児の成長・発達の特徴を理解することができる。	プリント
			健康や事故防止の ポイント	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子どもの健康や事故防止のポイントを理解すること ができる。	ワークシート
		親の役割と保育	親の責任・役割	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子育てと親の責任・役割について理解するこ とができる。	ワークシート テスト
		子どもの福祉	子どもが育つ環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	子どもが育つ環境について知ることができる。	

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	家庭(専門)・ 発達と保育	学年	3年	教科書	教育図書「発達と保育 育つ 育てる 育ちあう」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解する。生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。		
学習方法	子どもの発達や子育て支援に関心を持ち、子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援について課題を見出し、思考を深め判断創意工夫し表現とする能力を身につける。		
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	子どもの発達や子育て支援に関心を持ち、子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。
	b	思考・判断・表現	子どもの発達や子育て支援に関心を持ち、子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。
	c	技能	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援について課題を見出し、思考を深め判断創意工夫し表現とする能力を身につけている。
	d	知識・理解	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
				a	b	c	d			
1	ともに生活する	保育の必要性和意義 指導の原理	保育と人間形成 保育の目標	○			○	保育と人間形成、保育の目標を理解している。	事例研究 ワークシート 観察	
			乳幼児にふさわしい 生活の展開	○				乳幼児にふさわしい生活展開の必要性を理解する。		
		保育者の役割 家庭保育と集団 保育	保育者の役割と は		○		○	保育者の役割が子どもの人格形成の基礎を 培うことを知る。		
			家庭保育 集団保育		○	○		家庭保育と集団保育のあり方と意義を理解 する。		
2	子どもの生活	生活と養護	生活・健康管理 養護栄養と食事				○	生活・健康管理や養護・栄養と食事の必要 性を知る。	まとめ 発表 ワークシート 小テスト レポート	
			生活習慣の形成	生活習慣の形成	○					基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の 形成を理解する。
		健康管理と事故 予防 生活と環境	健康管理と事故 予防				○	日常の健康管理と病気の看護、事故予防に ついて知る。		
			生活と環境の 変化		○			よりよい生活環境をめざして家庭・地域のあ り方を考える。		
3	人間の発達	乳幼児期	乳幼児期の特徴				○	子どもの成育と乳幼児期の特徴を理解する。	ワークシート	
		発達観と保育	発達観の変遷	○	○			保育に必要な発達観について理解できる。		
3	発育・発達するこ と	胎児・新生児の 発育 乳幼児の発育	胎児から新生児 へ				○	胎児・新生児の身体的特徴を知る。(いのち の尊重に関する教育)	観察 まとめ 発表 事例研究 小テスト レポート	
			身体発育・評価					○		乳幼児の生理的特徴を理解する。
		乳幼児の精神発 達 人間関係の発達	乳幼児の発達	○						乳幼児の精神発達の特徴を知る。
			親子関係の発達					○		子どもの人間関係の発達とそのひろがり を理解できる。
		発達の個別性と 保育	心の健康と保育		○					子どもの発達の個別性と影響要因を 理解できる。
子どもの福祉	児童福祉	児童福祉の意義				○	児童家庭福祉の意義と社会的支援の必要 性について理解することができる。			

平成27(2015)年度 年間指導計画

教科・科目	家庭(専門)・ フードデザイン	学年	3年	教科書	フードデザイン 教育図書
		単位数	2単位	副教材	なし

学習目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、実習を通して食事を総合的にデザインする能力と実践的な態度を育てる。				
学習方法	○献立作成において、栄養素や食品の特徴など学んだ知識を生かす。 ○調理実習を通して調理技術を身に付ける。				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	栄養・食品・調理・食品衛生などについて関心を持って意欲的に取り組み、実践的態度を身につけようとしている。		
	b	思考・判断・表現	食生活について見直し、課題を発見してその解決を目指して思考を深め、適切に判断・工夫する能力を身につけている。		
	c	技能	家族や自分の食生活を健康で安全に営むために必要な、基礎的・基本的な技術を身につけている。		
	d	知識・理解	家族や自分の食生活を充実向上させるために必要な栄養・食品・調理・食品衛生などの知識を身につけて理解している。		

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	食事の意義と役割	健康と食生活	食事の意義・食生活の現状	○	○			食事の意義と役割を理解し、栄養摂取の現状と問題点を把握することができる。	ワークシート・授業態度観察・テスト
			栄養素の役割	○			○	栄養素の種類とはたらきを理解している。	
	調理の基本	調理実習	食事摂取基準と食事計画		○			食事摂取基準を理解し、適切な食事計画をたてることができる。(献立作成)	
			日常の献立	○		○		食品の取り扱い・調理法を理解し、和食・洋食・中華などの調理実習に積極的に取り組んでいる。	
2	食品の特徴	栄養素・食品の特徴	食品の特徴と性質①	○	○		○	各食品の特徴と性質を理解して、それぞれに含まれている栄養素の役割が理解ができる。	ワークシート・授業態度観察・テスト
	調理の基本	調理実習	病人食・幼児食	○			○	各ライフステージに合った献立や行事食を理解し、調理実習に積極的に取り組んでいる。	
	食品の特徴	栄養素・食品の特徴	食品の特徴と性質②	○	○		○	各食品の特徴と性質を理解して、それぞれに含まれている栄養素の役割が理解ができる。	
3	料理様式とテーブルコーディネート	豊かな食生活をつくる	料理様式と献立 各種のテーブルコーディネート ホームパーティの献立		○		○	栄養・食文化・安全性等の視点を持ち、意欲的に取り組み今後の食生活に生かせるような実践的な態度を身につけている。	ワークシート・授業態度観察・テスト
					○		○	栄養・経済性・季節感等を考慮しながら献立を立て実習することができる。	
	調理の基本	調理実習	行事食	○			○	調理実習を通して調理の知識を理解し、調理技術を習得できている。	